

2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
34105	情報サービス演習 I Practicum of Information Retrieval	新海弘之		専門	1	選択	1.2後期

科目の概要

現代社会において、情報収集・選択は日常生活の様々な場面で不可欠なものである。その際、過剰ともいえる情報の中から必要不可欠なものを選択することは、従来のアナログな手法だけでは困難となっている。本演習では図書館におけるレファレンスサービスを前提としたコンピュータネットワークを用いた情報検索、および入手した情報の評価方法について学修する。最終的には図書館でのレファレンス記録の作成について実践的技能の習得を目標とする。情報サービス演習 I は、ディプロマ・ポリシー①②④⑤に相当する。情報サービス演習 I は図書館サービスの基幹業務であるレファレンスサービスの演習を通じて、図書館サービスだけでなく、情報社会における様々な情報と向き合うことや、具体的な情報収集の方法やその評価などについて習得することにより②④を身につけることを目的とします。また、レファレンスサービスに実際に取り組むことで図書館サービスの現状等を知ることだけでなく社会人としての①⑤について考えることも目的とします。

学修内容	到達目標
① 情報サービスの仕組みを理解する。 ② インターネットの基本的な仕組みを理解する。 ③ 汎用的な情報検索の方法を理解する。 ④ 目的の情報に合わせた検索方法を理解する。 ⑤ 図書館で行われているレファレンスについて理解する。 ⑥ 情報モラルを学び、情報の扱い方を理解する。 ⑦ 図書館における基本的なサービスであるレファレンスサービスについて理解することができる。ディプロマ・ポリシー①に相当	① 情報サービスの仕組みを説明できる。ディプロマ・ポリシー②に相当 ② インターネットの基本的な仕組みを説明できる。ディプロマ・ポリシー②に相 ③ 情報検索を理解し、情報検索データベースを操作できる。ディプロマ・ポリシー②④に相当 ④ 目的に合った情報サービスを探し、使用できる。ディプロマ・ポリシー④に相当 ⑤ 図書館で行われるレファレンスを模擬的に行い、その記録を記述できる。ディプロマ・ポリシー⑤に相当 ⑥ 個人情報や権利を意識して情報を扱うことができる。ディプロマ・ポリシー①⑤に相当 ⑦ 図書館における基本的なサービスであるレファレンスサービスについて理解することができる。ディプロマ・ポリシー①に相当

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	演習の回答を時間内に出すために、必要と考えたことを順序立てて実行できる。
	働きかけ力	
	実行力	自分で考え演習に必要な方法を見出すことができる。提出物は、期限内までに確実にやり遂げることができる。
考え抜く力	課題発見力	授業で得た知識で課題の本質を見極め、演習の回答を導くことができる。
	計画力	
	創造力	必要な情報の検索方法を提案できる。レファレンス記録の作成にあたって、他者にとってわかりやすい記述ができる。
チームで働く力	発信力	演習で検索した結果を自分の表現で説明できる。自分の考えをまとめ、わかりやすく説明することができる。他者の意見を尊重し議論を進めることができる。
	傾聴力	作品発表する際は、発表者の説明に対し、うなずきやあいづちをしながら聴く姿勢を持ち、工夫され印象に残るところは細目にメモをとることができる。
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキストは指定せず必要に応じてレジュメを配布する
 参考文献：授業中に紹介する

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：図書館に関する科目
 資格との関連：図書館司書、学校司書（大学認定資格）

学修上の助言	受講生とのルール
--------	----------

授業内の演習はコンピュータを使います。コンピュータの初歩的な操作やタイピングは積極的に身に付けてください。	演習を行う上で、受講生同士で演習課題内容確認のためのコミュニケーションは容認するが、演習課題内容確認のため以外の私語等は迷惑をかけるため減点とします。
---	---

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①	⑥		
			②	⑦		
			③			
			④			
			⑤			
	小テスト	0	①	⑥		
			②	⑦		
			③			
			④			
			⑤			
	レポート	50	①	⑥		・期日までに、各講義でのレファレンス課題について自分で調査し、分析や意見をまとめたレポートを提出できる。（所定のレファレンス記録フォーム）及び最終講義終了後の図書館におけるレファレンスについての自分の考えについてまとめレポートA4サイズ1枚程度、自分の意見や問題点を入れること）を総合して評価する。総合50点のうち各講義分20点。最終レポート30点。
			②	⑦		
			③			
			④			
			⑤			
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	40	①	⑥	・「チームで調査し、分析や意見をまとめたレポート」について、発表することができる。（表現の仕方・説明のわかりやすさ・独自性を評価する）40点。		
		②	⑦			
		③				
		④				
		⑤				
学修行動 社会人基礎力（学修態度）	10	①	⑥	（主体性） 演習の回答を時間内に出すために、必要と考えたことを順序立てて実行できる （実行力） 授業で確認したデータベース以外を積極的に探し出す （課題発見力） 集めた情報から客観的に課題、そして回答を導き出すことができる （創造力） 検索法について創意工夫をする （発信力） 検索した結果を第三者に正確に伝える （傾聴力） 第三者の説明を敬意を持って傾聴し、その内容を十分把握するために必要に応じて確認できる （柔軟性） チームでの作業において、個人の意見に固執せず、他者の意見を取り入れて、より高い次元での成果に結びつけることができる。 （規律性） 遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローアップ課題を行う。		
		②	⑦			
		③				
		④				
		⑤				
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S（秀）は各講義後のレファレンス課題がすべて提出されており、解答の内容が正確であるとともに、記録としての確で、他者が参照するにあたりわかりやすい記述となっている。最終講義後のレポートの解答が適切で正確であり、且つ、独自の考察や提案が盛り込まれている。 A（優）は各講義後の課題がすべて提出されており、解答の内容が正確である。最終講義後のレポートの解答が適切で正確であり、自分なりの考察が述べられている。	B（良）は各講義後の課題が8割以上提出されており、提出された課題の解答が概ね正確である。最終講義後のレポートの解答が適切で、正確な内容で記述されている。 C（可）は各講義後の課題が6割以上提出されており、提出された課題の解答がある程度できる。最終講義後のレポートの解答が概ね適切である。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	情報サービスの全体像と構成要素の概要を学ぶ(予習)国会図書館レファレンス協同データベースを検索してみる	講義	情報サービスの全体像を説明できる。	(予習)身近な公共図書館に行ってみる。 (復習)全体像を復習し、今後の授業に必要なスキルを習得する計画を立てる。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
2	情報サービス演習の準備	講義 基本的な情報資源とレファレンスコレクションについて講義をする。	基本的な情報資源とレファレンスコレクションについて説明できる。	(予習)普段使用している情報検索できるデータベースを再確認する。 (復習)データベースの仕組みを復習する。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
3	コンピュータ検索の基本について学ぶ。	講義・演習 適宜演習を行い、結果を補足する講義をする。 演習内容をまとめたレポートの作成(翌週に解説)	キーワードの役割を理解し、適切な使い方ができる。	(予習)普段使用しているデータベースでキーワード検索を試してみる。 (復習)3つの主要な検索方法を復習する。	90	主体性 実行力 課題発見力 規律性
4	情報資源の探し方を学ぶ。	講義・演習 適宜演習を行い、結果を補足する講義をする。	効果的な情報検索のための手順を説明できる。	(予習)普段使用しているデータベースの効果的な検索を試してみる。 (復習)情報検索の手順を復習する。	90	主体性 実行力 課題発見力 規律性
5	図書館およびその他の情報資源について学ぶ。	講義・演習 適宜演習を行い、結果を補足する講義をする。 演習内容をまとめたレポートの作成(翌週に解説)	図書館の提供する情報資源を説明でき、検索に活用できる。	(予習)身近な公共図書館の参考図書コーナーに行ってみる。 (復習)いつも使っている図書館のウェブサイトを使ってみる。	90	主体性 実行力 課題発見力 規律性
6	ウェブページ、ウェブサイトの探し方について学ぶ。	講義・演習 適宜演習を行い、結果を補足する講義をする。 演習内容をまとめたレポートの作成(翌週に解説)	検索エンジンが検索結果を出す仕組みを説明できる。	(予習)よく使う検索エンジンでいろいろな検索を試してみる。 (復習)検索エンジンの仕組みを復習する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 規律性
7	公共図書館の図書の検索を学ぶ。	講義・演習 適宜演習を行い、結果を補足する講義をする。	演習を通して、図書の検索方法を習得する。	(予習)短大の図書館で図書を検索してみる。 (復習)うまくできなかった演習を復習する。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
8	国立国会図書館、その他の図書情報サイトの図書の検索を学ぶ。	演習・レポート結果を補足する講義をする。 7, 8週の演習内容をまとめたレポートの作成(翌週に解説)	演習を通して、図書の検索方法を習得する。	(予習)国立国会図書館のHPに行ってみる。 (復習)うまくできなかった演習を復習する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	雑誌および雑誌記事の検索を学ぶ。	演習・レポート結果を補足する講義をする。演習内容をまとめたレポートの作成(翌週に解説)	演習を通して、雑誌の検索方法を習得する。	(予習)短大の図書館で興味のある雑誌を検索してみる。 (復習)うまくできなかった演習を復習する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
10	新聞・統計の検索を学び、演習を行い、結果をレポートする。	演習・レポート結果を補足する講義をする。演習内容をまとめたレポートの作成(翌週に解説)	演習を通して、新聞・統計の検索方法を習得する。	(予習)短大の図書館で自分の生年月日の新聞記事を検索してみる。 (復習)うまくできなかった演習を復習する。	90	主体性 課題発見力 発信力 規律性
11	歴史・地理の検索を学び、演習を行い、結果をレポートする。	演習・レポート結果を補足する講義をする。演習内容をまとめたレポートの作成(翌週に解説)	演習を通して、新聞・統計の検索方法を習得する。	(予習)身近な公共図書館に行って歴史・地理の参考図書を見てみる。 (復習)歴史・地理の検索法をまとめ、うまくできなかった演習を復習する。	90	主体性 課題発見力 発信力 規律性
12	人物、法律の検索を学び、演習を行い、結果をレポートする。情報モラルについて実例を通して学ぶ。	演習・レポート結果を補足する講義をする。演習内容をまとめたレポートの作成(翌週に解説)	演習を通して、人物・法律の検索方法を習得する。情報に関わる権利、個人情報情報の扱いやセキュリティについて説明できる。	(予習)(予習)国会図書館レファレンス協同データベースを検索してみる。 (復習)うまくできなかった演習を復習する。情報に関わる権利、個人情報情報の扱いやセキュリティをまとめ、復習する。	90	主体性 課題発見力 発信力 規律性
13	チームでこの科目で習得した情報検索スキルで検索した情報資源を利用し、国立国会図書館レファレンス協同データベース仕様に準拠してレファレンス事例を作成する。	講義・演習 この科目で習得した情報検索スキルで検索した情報資源を利用し、国立国会図書館レファレンス協同データベース仕様に準拠してレファレンス事例を作成しプレゼンテーション資料を作成する。	レファレンス事例の記録を記述できる。	(予習)プレゼンテーションの準備 (復習)今まで確認したデータベースでお勧めの図書館資料を検索する応用的な検索方法について復習する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	チームでこの科目で習得した情報検索スキルで検索した情報資源を利用し、国立国会図書館レファレンス協同データベース仕様に準拠してレファレンス事例を作成しプレゼンテーションする。	プレゼンテーションを相互に評価してもらい解説する。	レファレンス事例の記録を記述し、説明できる。 レファレンス事例の記録に対して評価できる。	(予習)国会図書館レファレンス協同データベースを検索してみる (復習)レファレンス事例の記録を作成してみる	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	最近の図書館のレファレンスを中心としたサービスに関する映像をみたうえで、図書館における基本的なサービスであるレファレンスサービスについて、自分なりの考え方をまとめる。	講義で提示した図書館紹介に基づきレポートを作成する。	図書館におけるレファレンスサービスに取り組む場合の心構えについて考えを述べることができる。	(予習)これまでの講義におけるレファレンス課題への解答を再確認し、必要な修正等を行う。 (復習)レファレンス事例の記録を再確認する。身近な図書館でレファレンスを依頼してみる	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力